



ハナトピア岩沼

高橋 光孝

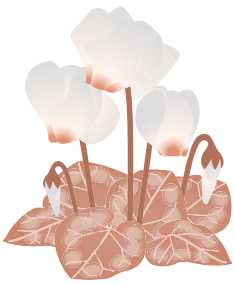
問 借地料が年間470万円であるが、地権者は何名いるのか伺う。
農政課長 地権者数は24名です。

問 毎年470万円、10年間で4700万円、20年間で約1億円の借地料を支払ってきた。できるだけ早い段階で購入してはどうか伺う。

市長 ハナトピア岩沼は、施設整備からもう19年がたちます。施設の使用方法について、農業団体以外の方々が使用できるのか調査しました。また、事業についてもいろいろ試しましたが、なかなかうまくいかなかったのが実情です。その原因は借地だという問題があるのだろうと思いますので、できるだけ早く、この土地問題については決着したいと思います。

子どもが遊べる公園へ！

問 花卉（かき）、花や草木の手入れなどの維持費が年間2800万円掛かる。この辺には小さな子どもたちが遊べる施設がまったくないという声が寄せられている。提案になるが、①夏は噴水などで



水遊びができ、冬は雪遊びができる施設、②四季を通して三輪車等を使い交通ルールなどを学ぶ交通公園、③2歳から5歳くらいの子どもとその親が自然遊びができる施設に、内容を変えてはどうか伺う。

市長 提案としてしっかり受けとめさせていただきました。しかし、ハナトピア岩沼は平成22年度に実施した事業仕分けで、廃止または休止という事業で区切りをつけた施設です。再利用するとなると、もう一回全体の計画を見直さなければならず、部分利用については難しいので、もう少し時間をいただきたいと思います。

◎その他の一般質問
・亀塚第一住宅跡地



カジノ（賭博場）
I R 施設の誘致

を含む

渡辺 ふさ子

問 6月議会で「岩沼市へのI R 導入可能性調査の早期実施について」の請願が賛成多数で採択された。この請願に対する処理経過及び結果では「いわぬま未来構想が描く岩沼の将来像の実現にあたり、必要不可欠な施設であるとの認識には至っておりません」と回答している。どのような点で一致しないと認識したのか伺う。

市長 国が「観光先進国を目指す」のに対し、岩沼市は「健康先進都市を目指す」考え方があります。子どもたちを大切に、そして高齢者が安心して住めるまちづくりを目指すところが国とは違います。

問 「現時点においては…」との回答もあるが、県が申請主体となり岩沼市に要請してきた場合も、いわぬま未来構想の判断を頂くのか伺う。

市長 健康先進都市を目指すことはぶれませんが、それに沿った行政運営をこれからも進めていきたいと思えます。

問 カジノに対する見解を伺う。
市長 事業内容については集客力、

収益力、観光資源の一つだと捉えています。国が推し進めることに特に意見はありませんが、身近なところにカジノの必要性は感じていません。

カジノ実施法案に反対を

問 カジノは人の射幸心をあおつて、人の富を効率的に収奪するものであり、人の弱みにつけ込む大規模な組織的私企業活動である。憲法上、最大の尊重を必要とする人権と公共の福祉に反するものである。政府はカジノ実施法案の提出を目指している。市長会等を通じて反対の意思表明をすべきでは。

市長 カジノ推進法は国策として施行されています。岩沼市は資格も何もなく、反対の意思表示はしなくていいと思います。

◎その他の一般質問
・西公民館
・西児童センターのトイレ
・就学援助の前倒し支給
・国民健康保険（国保）